



環境マネジメント

■ 環境宣言

ホテルグランヴィア京都は、環境法令を守り、節水や省エネルギー、廃棄物の削減等を通じて地球環境にやさしいホテルづくりを目指しています。当ホテルでは、「環境宣言」を策定し、全社員への浸透を図るため、名刺大の「環境宣言カード」を作成し配布しています。

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発〔ホテルグランヴィア京都〕環境宣言

基本理念

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発〔ホテルグランヴィア京都〕は、地球環境の保護が21世紀における人類の最重要課題のひとつであることを認識し、環境にやさしいホテル経営を通じて社会に信頼される企業づくりを目指します。

環境方針

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発〔ホテルグランヴィア京都〕は、当社の事業活動に伴う環境負荷を低減及び環境保護のため、以下の方針に基づき環境マネジメント活動を継続展開します。

1. 当社の事業活動、製品、サービスが環境に与える影響を常に認識し、環境汚染の予防や環境保護、継続的な環境改善に取り組みます。
 なお、環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 環境関連法・その他規制事項を適切に把握し、要求事項を遵守します。
3. 当社の事業活動に関する環境影響のうち、以下の項目を主要な環境改善テーマに位置付け、環境目標を設定し定期的な見直しを行います。
 - ① 環境教育・啓発活動
 - ② 化学物質の削減
 - ③ 省エネルギー化
 - ④ 生物多様性に基づく育成・啓蒙活動
 - ⑤ 廃棄物の削減
4. 一人ひとりが環境に対する意識を高め、環境改善活動を実践できるよう、環境宣言を全従業員に周知するとともに、一般の人々が入手できるようにします。
5. 環境宣言は社外へ広く開示するとともに、パートナー会社に対して当社の環境改善活動に対する理解と協力を求めます。

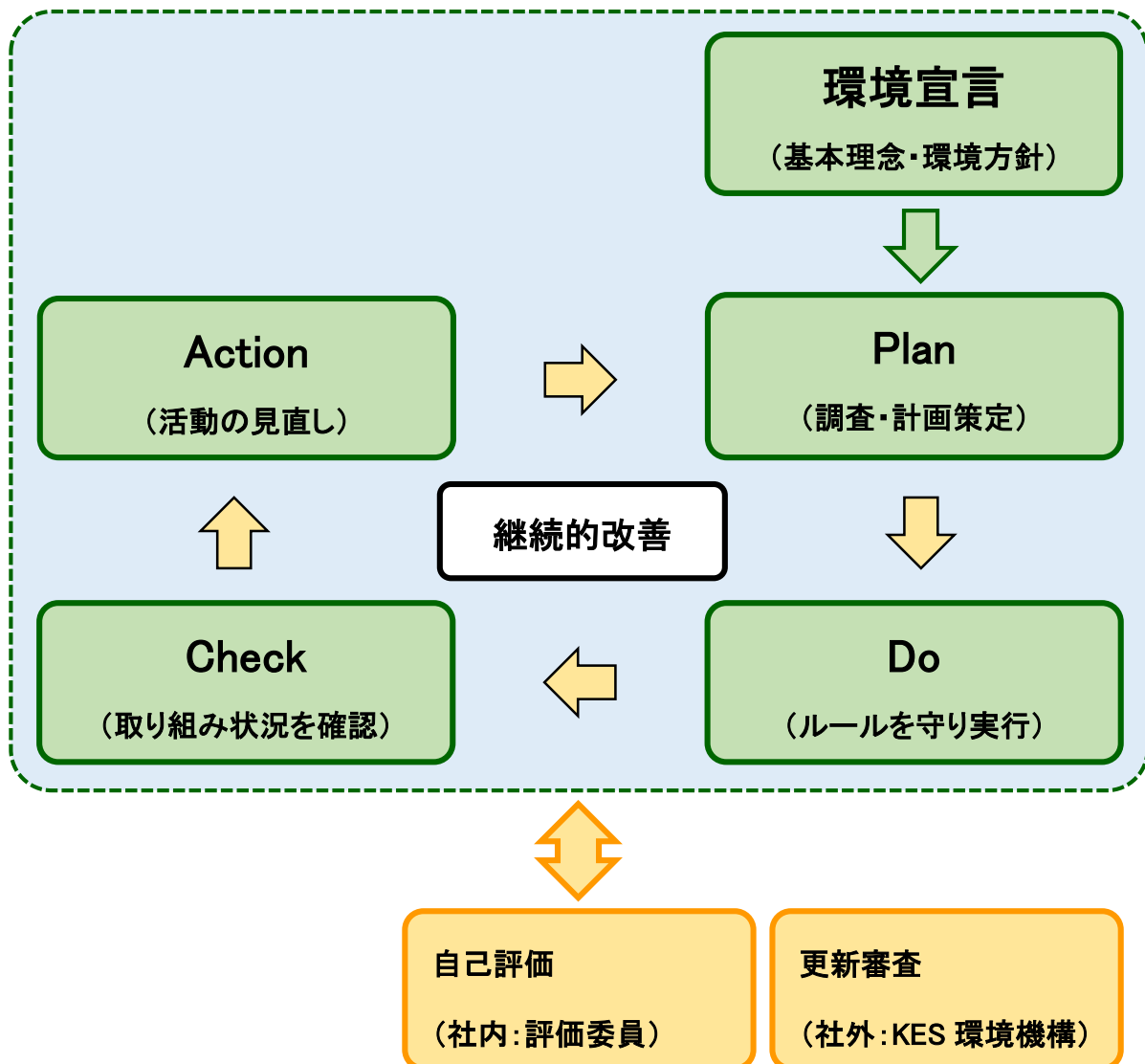
2015.04

環境マネジメント

■ KES(京都・環境マネジメントシステム・スタンダード)認証取得

ホテルグランヴィア京都では、将来にわたり継続的に地球環境保護への取り組みを実践していくために、「環境マネジメントシステム」を構築しています。2005年3月に宿泊施設で最初の「KES(京都・環境マネジメントシステム・スタンダード)ステップ2」を取得しました。

環境マネジメントの仕組み(PDCA サイクル)



■ 「KES(京都・環境マネジメントシステム・スタンダード)」について

KESは環境マネジメントシステムの規格で、企業経営等において環境への負荷を管理、低減するための仕組みです。環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」を簡易化して取り組みやすい内容で誕生したのがKESです。詳しくはKESの認証機関である「KES環境機構」のホームページをご覧ください。(KES環境機構 URL : <http://www.keskyoto.org/>)

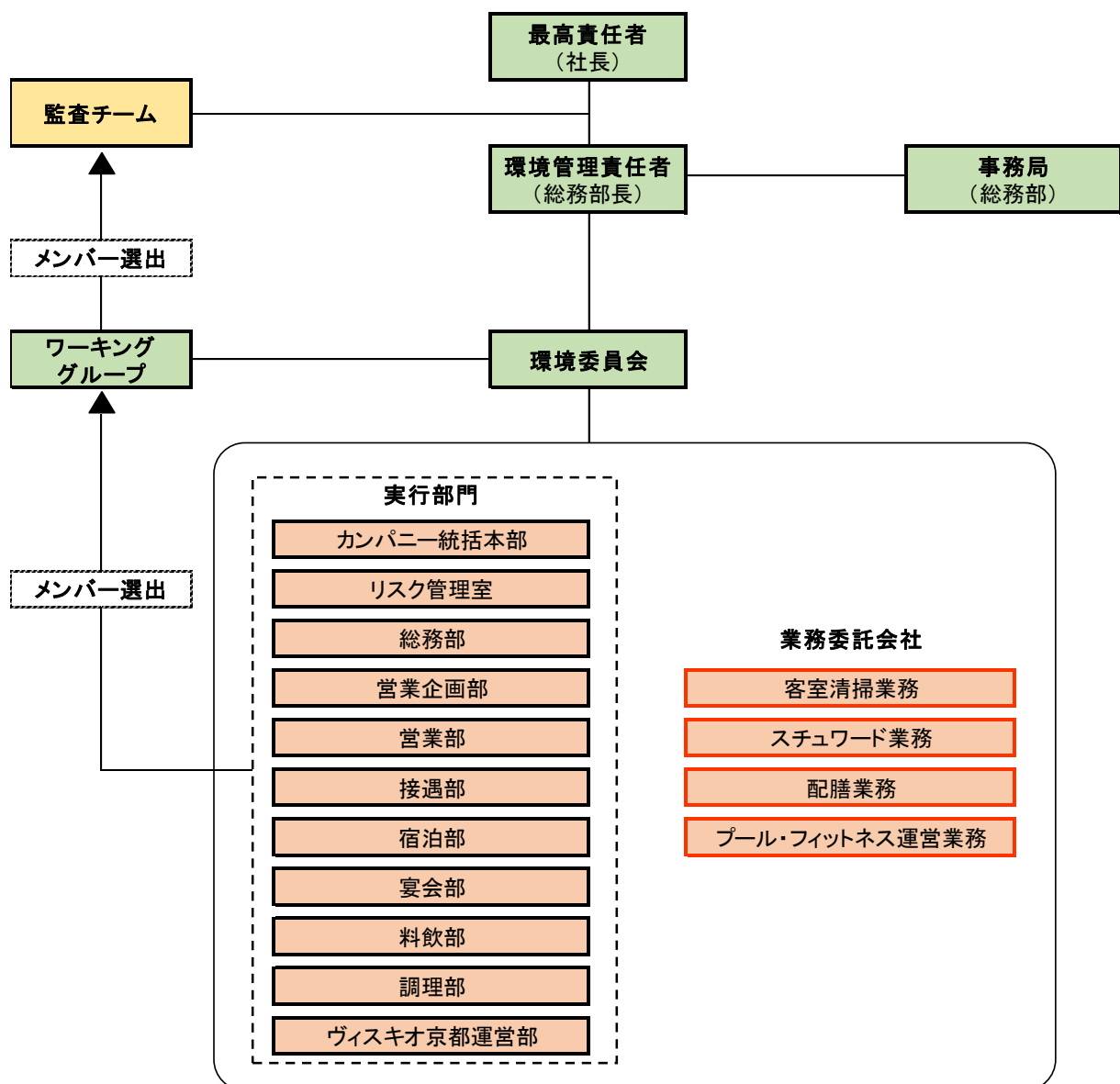
環境マネジメント

■ 環境マネジメント推進体制

ホテルグランヴィア京都では、環境マネジメントの推進組織として、「環境委員会」「ワーキンググループ」を設置しています。

各部門の実務担当者で構成される「ワーキンググループ」では、環境目標の達成状況を確認・分析し、各種アクションプランの推進等について検討を行っています。

環境マネジメント推進体制



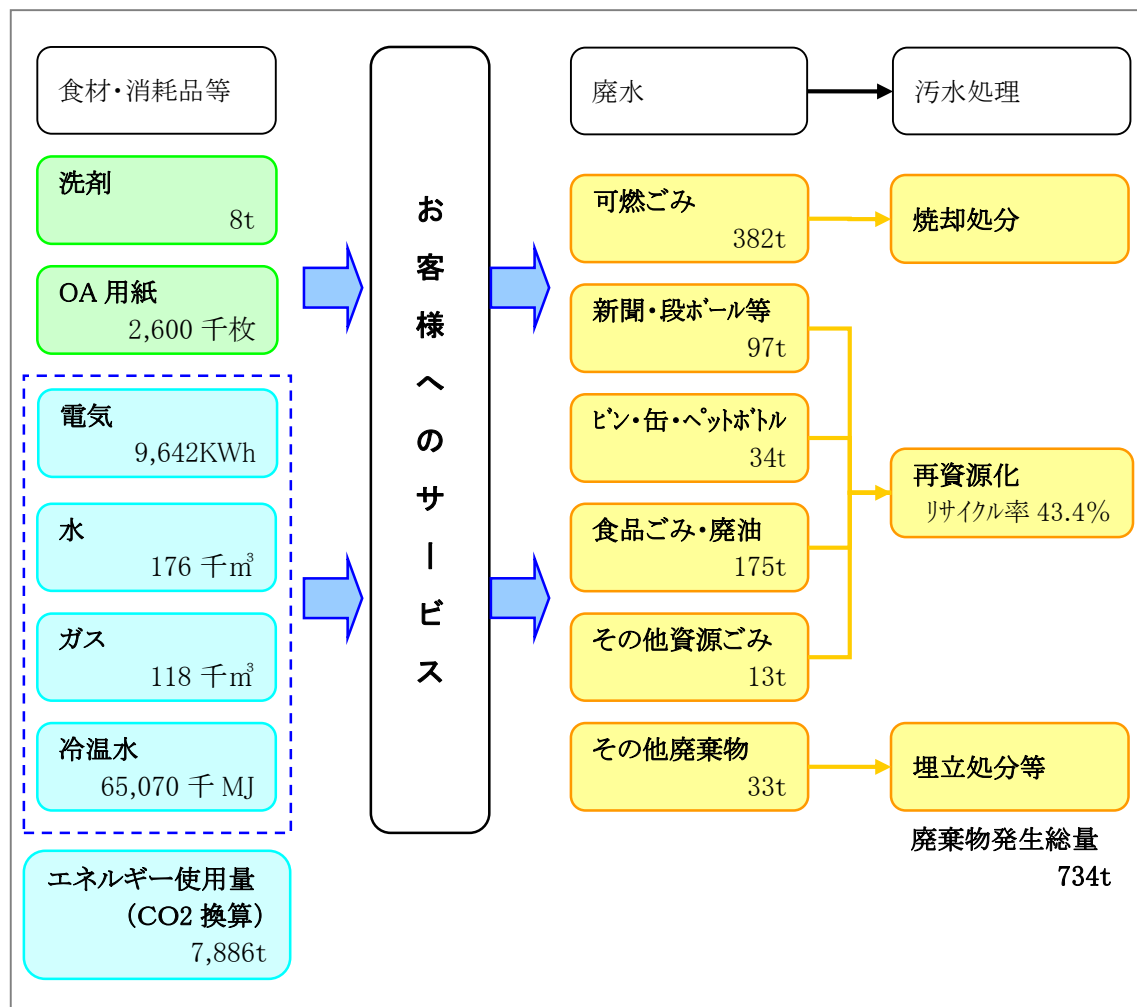
環境マネジメント

■ 環境データ

ホテルグランヴィア京都では、客室 538 室、大小 15 の宴会場、レストラン（テナント含む）11 店舗を有し、年間約 129 万人のお客様にご利用いただいております。（※2019 年度実績）

その過程では、多量のエネルギーや食材、資材を投入し、また、大量の廃棄物が発生しており、投入する資源やエネルギーは効率的に、発生する廃棄物は有効活用し可能な限り少なくする事が、地球環境に優しいホテル運営であると考えます。

ホテルで1年間に使用するエネルギー及び発生する廃棄物量(2019年度実績)



主要な環境指標の推移

	2005年度 (活動開始)	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	対活動開始 年度比	対前年比
洗剤使用量 (kg)	20,798	11,142	12,277	11,010	9,633	9,522	9,281	8,112	39.0%	87.4%
エネルギー使用量 CO2換算(t)	11,062	9,290	9,027	8,758	8,640	8,350	8,538	7,886	71.3%	92.4%
電力使用量 (千KWh)	11,677	9,744	9,621	9,733	10,348	10,658	10,172	9,642	82.6%	94.8%
ガス使用量 (千m ³)	152	117	112	126	127	125	123	118	77.4%	95.4%
水道使用量 (千m ³)	251	218	200	200	198	203	211	176	70.0%	83.2%
温水使用量 (千MJ)	37,662	32,295	32,790	27,734	31,982	33,869	30,727	26,996	71.7%	87.9%
冷水使用量 (千MJ)	54,621	45,806	42,398	43,423	42,534	39,627	41,504	38,074	69.7%	91.7%
廃棄物総発生量 (t)	1,176	894	877	878	871	855	806	734	62.4%	91.0%
可燃ごみ処分量 (t)	922	410	402	404	417	434	403	382	41.4%	94.7%
廃棄物リサイクル率	18.0%	48.9%	49.1%	49.0%	47.2%	44.5%	45.3%	43.4%	(+ 25.4P)	(△2.0P)
OA用紙使用量 (千枚)	3,012	2,541	2,556	2,621	2,118	1,812	2,691	2,600	86.3%	96.6%

地球環境保護へのアクション

■ 地球温暖化防止に向けて

ホテルグランヴィア京都では、地球的規模で深刻化する地球温暖化について、省エネとゴミ焼却量の削減による温室効果ガスの発生抑制と、CO₂の吸収源である森林資源保護の観点からOA用紙の使用量削減に努めています。

① エネルギー使用量の削減

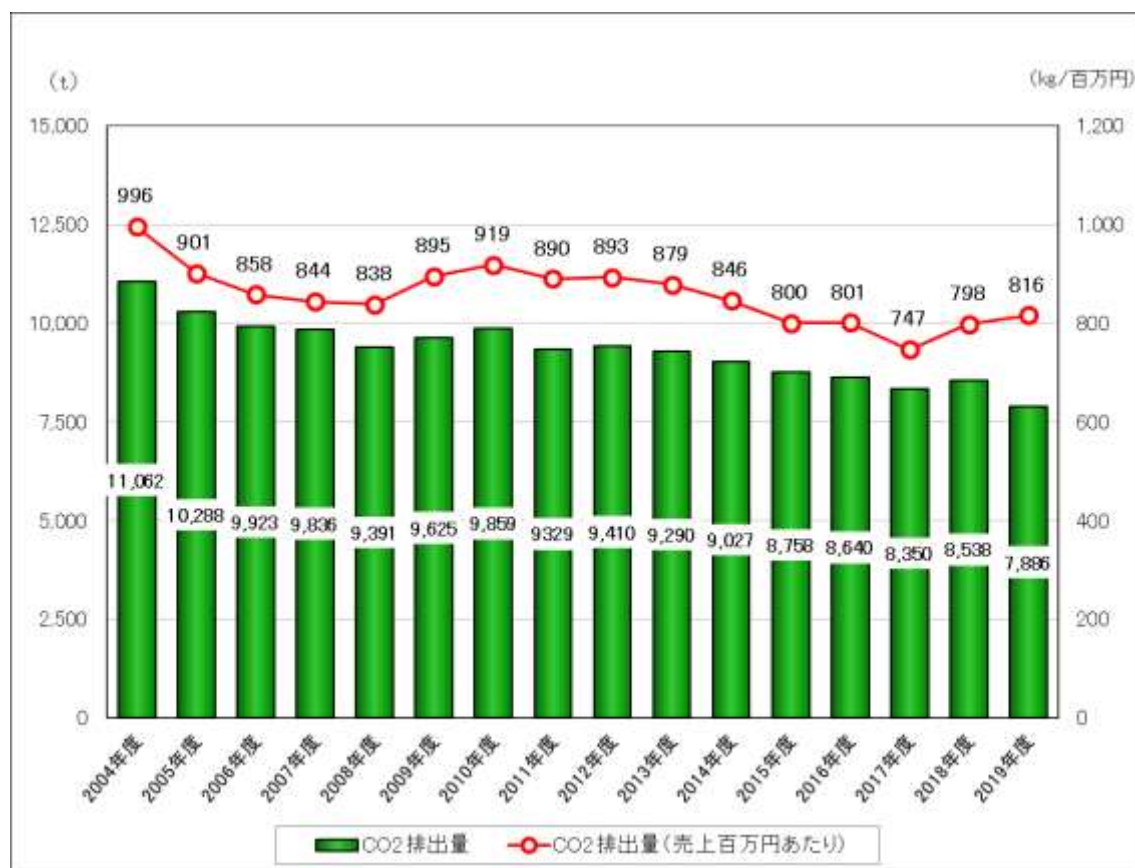
ホテル館内で使用するエネルギーの効率化（省エネルギー）と無駄の削減に努め、より少ないエネルギーでお客様に満足していただける快適な空間と料理、サービスを提供できるように努めています。

また、当ホテルが立地する「京都駅ビル」では、1997年（平成9年）の開業時より、コージェネレーションによる効率的なエネルギー供給を行っています。

（主な取り組み事例）

- ・ガラス面には遮熱フィルムを貼り、冷暖房を効率化
- ・厨房には節水装置、従業員施設には、節水型シャワーやセンサー式のトイレを導入
- ・照明のLED化や照明・空調設備の運用改善

エネルギー使用に伴うCO₂排出量の推移

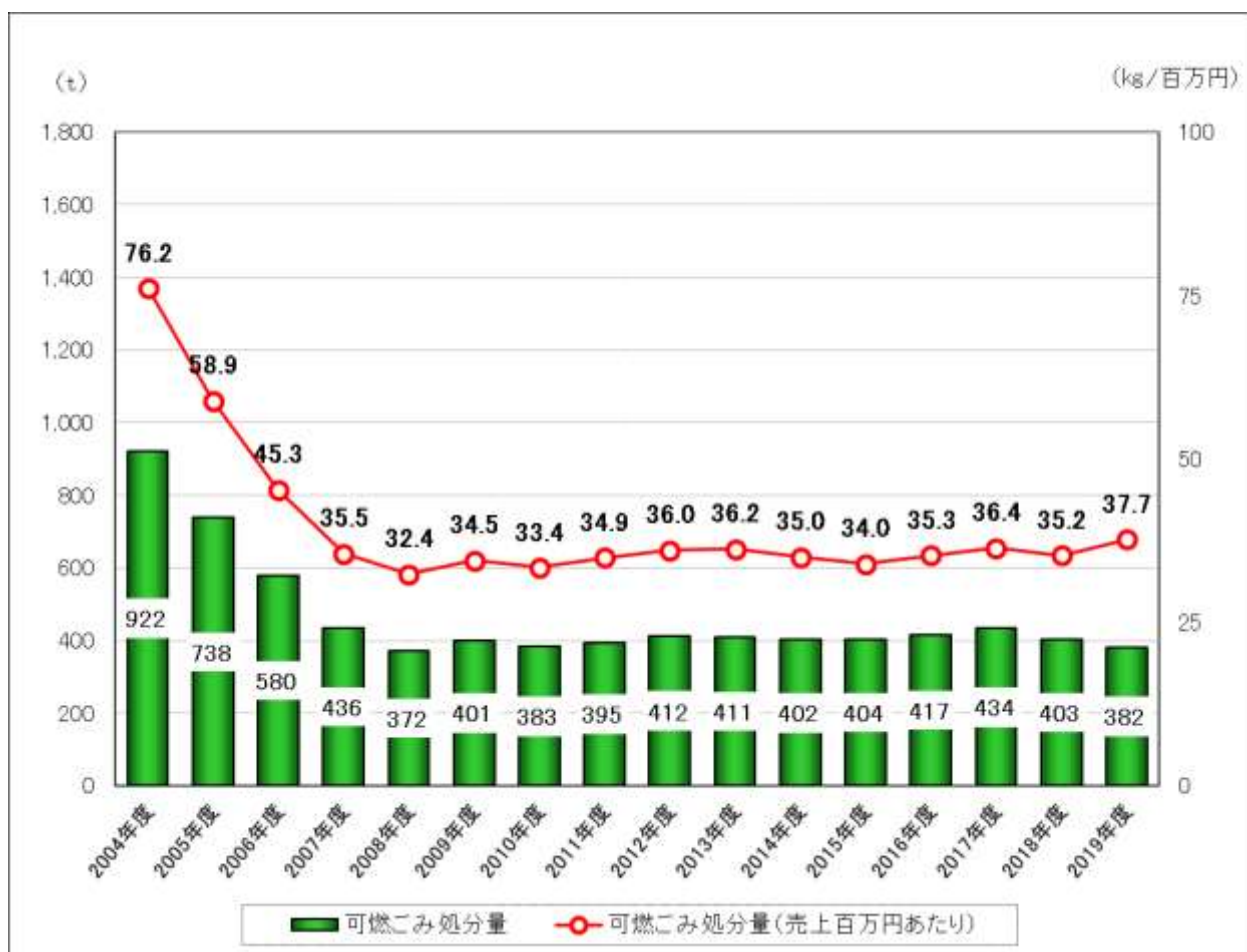


② ゴミ焼却量の削減

「リデュース（抑制）」「リユース（再使用）」「リサイクル（再生利用）」により、廃棄物の大部分を占め、ゴミ処理場で焼却する可燃ゴミの削減に努め、リサイクル率の向上に取り組んでいます。（主な取り組み事例）

- ・廃棄物は15種類に分別し、そのうち13種類をリサイクル
- ・食品ゴミを飼料としてリサイクル
- ・廃食油をバイオ燃料の原料としてリサイクル
- ・宴会場やレストランで使用された割箸を洗浄後に回収し、再生紙の原料としてリサイクル

可燃ゴミの焼却処分量の推移



③ OA 用紙使用量の削減

社内で使用するOA用紙の使用量削減に努め、森林資源の保護と、使用後の紙ゴミの発生抑制に取り組んでいます。

（主な取り組み事例）

- ・社内LANやグループウェアによるペーパーレスな情報共有
- ・両面印刷や裏紙の有効利用
- ・管理帳票や保管書類のデータ化
- ・発注業務、申請業務のオンライン化

地球環境保護へのアクション

■ 食のリサイクル

ホテルグランヴィア京都では、調理の過程や食べ残し、売れ残りなどで日々大量に発生する「食品ゴミ」のリサイクルに取り組んでいます。

食品ゴミは、外部の委託業者により、飼料の原料に加工され、最終的には畜産農家で飼料として活用されています。

地球環境保護へのアクション

■ エコキャップ活動

ホテルグランヴィア京都では、お客様や従業員が使用したペットボトルのキャップを分別して回収しています。回収されたキャップは再資源化事業者へ売却され、その売却益をポリオワクチン寄贈団体へ寄付することにより、資源の有効活用と発展途上国の支援に寄与することができるエコキャップ活動に参加しています。(1990年3月より活動開始)

なお、2021年2月現在で、累計832千個のキャップが回収され、約520人分のワクチンを届けることができました。

地球環境保護へのアクション

■ 生物多様性に基づく育成・啓蒙活動

ホテルグランヴィア京都では、2015年1月より生物多様性の取り組みとして、上賀茂神社の「フタバアオイ」里親制度に参加し、「フタバアオイ」の育成に取り組んでいます。

京都三大祭の「葵祭」で使用される「フタバアオイ」は、自生数が激減しており絶滅の恐れがあります。そこで企業や個人に株分けをし、育成・保全を進める里親制度が実施されています。株分けされ、育成した「フタバアオイ」の一部は、5月上旬に上賀茂神社へ奉納し、その年の「葵祭」にて使用されます。※2020年度里帰り奉納式は新型コロナウイルスの影響により中止。

この里親制度に参加し、育成・保全に努めることで、従業員をはじめ、ホテルをご利用いただくお客様に、京都固有の生態系（生物多様性）と伝統文化の共生について広く発信する啓蒙活動に取り組んでいます。



地球環境保護へのアクション

■ その他の取り組み

ホテルグランヴィア京都では、毎月2回、京都駅前地域の清掃活動に参加しています。

客室で使用する冷蔵庫は、地球温暖化の原因である「フロンガス」を使用しないものを採用しています。その他、OA用紙や名刺は再生紙を利用するなど、グリーン購入に努めています。

食器洗浄に使用する洗剤は、河川などへの影響を考慮し、環境に優しい洗剤への転換を進めるとともに、自動希釈装置を設置して使用量の適正化に取り組んでいます。